

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和7年6月26日(木)  
 9:00～11:15  
 場所 浜田市立波佐小学校  
 対象 3～6年生児童10名  
 指導者 担任  
 埋蔵文化財センター職員

1. 主題 古代の生活を知ろう～古代食作り体験～

2. ねらい

- 古代の人々の生活の様子に関心をもつ。
- 古代食作りの体験を通して、古代人の食生活について知り、古代人の生活への理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
あいさつ 座学 30分程度 (9:30まで)	○今日の学習の流れを確認しよう  ○会場：○○室 ○学校周辺の遺跡や弥生時代・奈良時代の人々の生活について知ろう ・どのようにご飯を炊いていたのかを知る。 ・児童による土器見学 休憩、ピロテニーに移動	・講師の紹介をする。 ・学習のねらいと内容を説明する。  ・パワーポイントなどの視覚的教材を使って児童の興味・関心を高める。	
火起こし体験 40分程度 (10:20まで)	○会場：ピロテニー 火起こし体験 ・火起こし説明 ・埋文職員がデモ ・子供たちがトライ 休憩	・3つの班に分かれて活動する。 ・交代でトライ。 ・火が付いたらろうそくに移す  ・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。	
古代食づくり 40分程度 (11:00まで)	○古代食作り ・赤米の炊飯 炊飯30分・むらし10分(土器1点赤米1合焚火台) ・炊いている間にどんぐりのハンバーグ作り	・焚火台・薪は学校で用意 ・どんぐりハンバーグはホットプレートで焼く(学校で用意)。 ※炊きあがった土器は大変熱いので、手で触れないこと。軍手をしていても熱い。できるだけ触れない。	
試食・写真撮影 (15分) 11:15終了	○古代食を試食しよう ○感想を言おう。		
給食後	○片付け		

※ 準備する物

(学校)

パソコン、プロジェクター（電子黒板）、調理器具（ホットプレート・茶碗）、食器、食材（ウズラの卵・ミンチ肉・クルミ・長いも）、焚火台、薪、着火剤

(児童)

エプロン、マスク、筆記用具

(埋文センター)

食材（どんぐり粉）、炊飯用土器、ろうそく、燭台、遺物、学習の資料、アンケート用紙等